

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○地域又、以前利用者家族様のかかわりの中で、理想と家族としての希望がかなえられる現実でありたい。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○理念は提示し、頭の中にはあるのですが、完全に共有まで至っていない。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○町内会、近隣の方とに声掛けはしておりますが、なかなかまた浸透してもらえない現状です。	○行事、施設への見学により認知症への理解を深め、ボランティアへと広げて行き交流の場にしていきたい。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	○町内会、近所又、お立ち寄りになられる方々にはいつでも見学や行事に参加できるように、玄関のドアをいつでも開けている状態です。少しでも地元の交流に参加できるようにしたいです。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	○自己評価や、外部評価は管理者のみではなく、スタッフ全員で取り組み、大きな問題点にあっても全員で考え乗り越えて行きたい。	
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	○町内会、民生委員、家族様に参加して頂き、ターミナルケアについて熱の入った意見交換をし、次のステップにつなげて行きたい。	○研修では今グループホームでのターミナルケアについて勉強中であり、会議でも取り上げ、今後取り組んで行きたい。
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	○市町村へホームのパンフレットや広報誌等を配布している。 ○行政との連携があまり良く取れていない。	
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	○外部研修への参加により全職員の支援の進展につなげて行きたい。	
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	○身体の虐待と、言葉の虐待がありますが、特に言葉の方にはミーティングで常に話し合っている。	○虐待防止関連法、防止策の検討、勉強に参加して行きたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	○契約時は、利用者や家族様等に事業所の方針や、取組等について説明している。 ○退所後にも情報提供し、訪問をしている。	
11	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	○管理者、職員は利用者が苦情、悩み事を言いやすい様に接している。 ○利用者の希望や話を良く聞いてあげる。	
12	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	○利用者の受診や健康の変化があれば、すぐに連絡を取り、報告するようにしている。	
13	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	○家族様などが意見や要望などは話しやすく、聞いてあげられる様に雰囲気作りを行っている。	
14	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	○ミーティング、ケース会議などで職員の意見を聞く機会を設けている。	
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	○夜間にケアが必要な利用者には直ぐ対応できる体制を取っている。	○対応のできる柔軟な体制の見直しをしている。 ○要望の先取り。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	○担当職員の異動や、配置換えには新しく担当する職員に詳細に引き継ぎを行っている。		
5. 人材の育成と支援			
17 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	○職員は個々の力量や経験に応じた研修を受講している。 ○研修後はミーティングで発表したり報告書を作成している。		○研修受講後は内容を日々のケアに活かせるよう支援し、本人の介護に少しでも役立てるようにしている。
18 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	○同業者との交流の機会はあまりありませんが、出来れば交流し、連携の機会がほしいです。		
19 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	○職員の意見や悩み事を少しでも聞いてあげたいと思い、少人数で食事会を設けている。		
20 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	○希望資格が取得できる様に気配りし、個々の勤務しやすい様に体制を整えてあげる。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○利用者やご家族様との面談には希望ニーズを把握し、信頼関係を築くことを意識しながら対応している。	
22	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	○対応できることについては柔軟に実行し、すぐに対応できない事に対しては密接に相談しながら進めていく。	
23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	○利用者、ご家族様など双方の意向にそったサービス開始となるように、十分話し合いをし、調整して行く。	○施設見学の実施、体験を試みる。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	○利用者には好きなこと、得意分野で気持ちを落ち着いてもらい、職員も共感、共同しながら良い関係作りに行きたい。	○利用者の得意分野を引き出してあげ、共感、理解に努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	○利用者の様子を家族と情報交換し、家族の思いや気づきを共有し、利用者のより良い介護の方向付けに行きたい。	○	○常に情報交換を密にし、より利用者のやる気、変化を気づき支援して行きたい。
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	○家族との関係が途切れないよう、日々の利用者の様子を面会時や電話で伝えたり、ホームを訪ねやすい様に働きかけている。		
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	○利用者がこれまで係ってきた友人、知人を大事にし、交流を継続できるよう支援している。		
28	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	○職員は利用者の仲のいい、悪いを把握し孤立しないように配慮している。	○	○利用者同士の性格、個性をよく把握し、支えあって行きたい。
29	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	○サービス終了後も家族の相談に応じるなど、支援を怠らないようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	○職員は利用者の思いや希望、意向を把握するよう努めている。十分に把握できない場合は、家族や関係者などに聞いている。	○ ○利用者の思い、希望を聞かれると8割の人は帰宅願望が強く、地域密着により地元の利用者だけですから、時には職員が自宅まで送迎してあげることもある。
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	○利用者の生活歴や個性、友人、地域との関わりを把握し、本人が暮らしやすいように心配りをしている。	
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	○利用者の日々の暮らしの中の生活リズムをとらえ、日々の体調変化に気づけるように把握している。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	○介護計画作成は、利用者がその人らしく暮らし続けることが出来るように、性格、習慣を見極め、一歩でも前進出来る様に話し合い、作成している。	○ ○今までやってきた事、趣味を引き出してあげ、少しでも出来ることを続けて行けるように介助してあげる。
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	○実施期間に関わらず、利用者の身体状況や利用者や家族などの希望に随時見直しを行っている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
35	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	○一人ひとりについて、日々の暮らしの様子や身体状況などについて具体的に記録している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
36	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	○多機能性の支援はまだ行っていない。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
37	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	○ボランティアのご協力を得て、踊りや幼稚園の子供たちとの交流も図っている。	○	○地域住民の皆様、警察の方々にもご協力、ご理解を頂き、認知症の方への取り組みをお願いしている。
38	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	○希望に応じて美容室への送迎、利用の出張サービスを受けられるよう支援している。	○	○利用者の希望を聞いて行ってみたい所、他サービスの出来るように支援している。
39	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	○現在では利用していない。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	○利用者の定期的な受診のほか、体調変化時には早期対応している。 ○受診結果は家族等に連絡を密にしている。	○	○利用者の体調変化や希望受診はなるべく受けるようにしている。受診結果は家族に報告している。
41	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	○地域には認知症の専門医はおられません。		
42	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	○利用者の普段の状態や持病などは看護職員に把握してもらい、急変の場合には直ぐに連絡を取り合い対応している。	○	○利用者の体調の変化は常に看護職員に伝え、相談しながら支援している。
43	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	○退院に向けた支援体制について、家族も含めた話し合いを行っている。		
44	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	○研修によりターミナルケアへの勉強を処々に始めている。主治医、家族との連携、契約も交わしている。	○	○体調に変化があった時は、看護職員が早期に医療機関に連絡を取り往診してもらえよう家族との意思統一を図っている。
45	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	○ターミナルケアへ向けて、医療機関や家族との連携を図りながら支援していく体制を整えている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	○ダメージが最小限となるようプライベートに配慮し、詳細な情報提供を行っている。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
47	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	○	○利用者の意向を配慮した上で介助時声掛けは利用者の羞恥心に配慮している。
48	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	○利用者との日々の関わりや家族等からの情報により、利用者の希望、癖、嗜好等を把握している。
49	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	○一人ひとりの体調、ペースを見ながらお手伝い、散歩の誘導をしている。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
50	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	○	○利用者の希望や好みの衣料品店や、理容、美容院に出かけられ様に支援してし、送迎をしている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
51	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	○利用者の好みを聞きながら季節の物を取り入れ、献立を立てている。 ○その人に合わせ、キザミ、食べこぼしのサポートを行いながら会話をし、食事時間を過ごしている。	○	○季節の野菜、山菜などはよく知っていて楽しみながら手伝ってくれます。
52	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	○利用者の体調を考え、煙草は吸わせていない。 何とかそれに変わる物はないかと職員も悩んでいます。		
53	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	○一人ひとりの排泄を記録し、把握している。 ○尿意、便意の誘導、失禁の対応は手早に他の入居者に気づかれないようにしている。		
54	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	○利用者の入浴習慣や好み、体調を把握し出来るだけ合わせるようにしている。 ○入浴を拒否する利用者には何度か声掛けをし、無理な行動はしない。	○	○安全で負担にならない入浴支援をし、職員とのコミュニケーションの時間でもあるので、ゆっくりと楽しみながら、その人に合わせた入浴。
55	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	○一人ひとりの睡眠パターンを把握し、リズムを崩さないようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
56	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	○利用者一人ひとりに合った役割、食器拭き、洗濯物たたみ等。 ○散歩等の軽運動での気分転換。	○	○趣味の作り物、折り紙等で楽しんだり、庭の草取りを手伝ってくれる人もいます。(短時間)


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	○利用者の力量や希望等に配慮し、買い物には見守りながら自分で支払えるようにしている。		
58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	○利用者の気分転換等に希望に合わせて買い物にも一緒に出かけられる。	○	近くの公園の散歩、季節にあわせ希望を取り入れている。
59	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	○職員も行けない場所へは家族の支援をお願いしている。		
60	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	○家族からの電話は楽しみにしているので、こちらからもお願いすることもある。又、本人からの希望で電話をかけてあげることもある。		
61	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	○家族等の訪問、面会は声掛けを行い、過ごしやすい雰囲気作りを行っている。 ○利用者の安心感にもつながる。		
(4)安心と安全を支える支援				
62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	○身体拘束は行わないという姿勢で日々のケアを提供している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	○居室等、利用者が日常的に出入する場所は施錠していない。 ○日中は玄関に施錠しない等、利用者が自由に出入出来る様にしている。	○	○利用者が外出、散歩にでかけられる時は、職員同伴で出かける。
64	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	○昼夜共に職員は利用者を見守りやすい場所にて、常に利用者の様子を把握している。		
65	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	○注意の必要な物品には鍵をかけ、利用者の手の届かない場所の保管に努めている。		
66	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	○利用者の事故に想定される場所、窒息、誤薬、行方不明、火災等の防止に向け話し合いをしている。 ○事故、ヒヤリハット事例は全職員に報告書、周知するようにしている。		
67	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	○夜間緊急時対応マニュアルが作成されている。		
68	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	○夜間想定した避難訓練を一カ月おきに実施している。 ○消防署からの指導、協力をしてもらいながら訓練を続けている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	○起こり得るリスクや対応策について、利用者の状況変化等に応じて、適切に出来るように話し合いをしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
70	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	○変化や異変の兆候があった場合には記録に残すとともに全職員に相談し、必要に応じて医療機関に相談する等の対応を行っている。		
71	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	○薬の飲み忘れや誤薬等がないよう常時注意し、話し合いをしている。 ○薬の変更時は速やかに全職員に周知している。		
72	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	○一日の食事や排泄状況等に注意し、自然排泄を促すよう個々に働きかけている。 ○下剤はよく観察しながら、個々に合った用量を服用させるようにしている。		
73	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	○毎食後に口腔内の洗浄や入れ歯の手入れ等を行っている。 ○声掛けをして、一人ひとりの能力に応じた支援をしている。		
74	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	○一日の摂取カロリーや水分摂取は大概把握している。 ○栄養のバランスに配慮した献立を作っている。	○	○季節の野菜と魚を重点に取り入れ、全体のバランスを考えた献立にしている。 ○自作の野菜を使うととても喜んで食べてもらえる。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	○一介助ごとに手洗い。消毒の実施 ○マニュアルは必要に応じて見直しを行っている。	○	○手洗いの徹底。 ○調理にはしっかり火を通す様になっている。
76	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	○台所や調理器具等の清潔を保持する様に職員に周知している。 ○新鮮な食材を使用するため仕入れは毎日使う分だけになっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
77	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	○特別な工夫はしていません。		
78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	○日差しが室内も広く明るく、広い空間と居室がある。 ○室内からは自然が良く眺められ、四季が常に感じられます。	○	○共用室内は日差しが良く、風通しも良くし、常に温度、湿度に気を配っている。
79	○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	○入居者同士が団欒できるスペースが確保され、畳の場所では寝そべったりコミュニケーションの場として好まれています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	○使い慣れた家具、テレビ等の持込が可能であ る。 ○居室は広めに出来てあり、ゆったりとした空間 と小物の持ち込みを家族に勧めている。	○	○今まで生活してきた状態を考え、配置、使い慣 れたものを使用してもらえ様に家族に勧めてい る。
81	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	○臭いや空気のだよみがない様、換気や温度、湿 度に気を配っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
82	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	○利用者の安全を考慮し、要所には手摺等の配置 をし、転倒の原因を取り除いている。又、洗面 所、玄関にもイスを用意している。		
83	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	○利用者の場所間違いを防ぐ為に利用者一人ひと りの状態を把握し、目印の配置の見極めを個々に 合わせて表示をつける等の取り組みを行ってい る。		
84	○建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動でき るよう活かしている	○庭に花を植え、玄関先に鉢を置き、憩い、利用 者同士のその人らしく過ごせる様に敷地内を回 ったり活用している。又、畑で園芸をし、職員との コミュニケーションを計っている。	○	○畑で野菜を作ったり、成長を見守り楽しみなが ら見守っている。収穫にはより楽しい時間と なっています。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input checked="" type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input checked="" type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/> ①大いに増えている <input checked="" type="checkbox"/> ②少しずつ増えている <input type="checkbox"/> ③あまり増えていない <input type="checkbox"/> ④全くいない
95	職員は、生き活きと働いている	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての職員が <input checked="" type="checkbox"/> ②職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="checkbox"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

去年同様、園芸療法を続けています。新しくメロン、さつまいもの栽培を加え、利用者は散歩を兼ねて日々の生長を楽しみながら見回っています。去年よりじゃがいもが大きいようだし、カボチャも良く育っていると長芋農業経験の利用者さんの口々の評価が聞かれます。皆で収穫する被を楽しみにしています。